

弘道館・水戸城跡周辺地区の『景観』に関するアンケート調査結果【平成28年3月実施】

1. アンケートについて

この調査では、弘道館・水戸城跡周辺地区における景観の現状や課題について、市民や事業者のみなさまが日頃からどのように感じているのかをお伺いし、今後のまちづくりの取り組みの参考とするため実施しました。

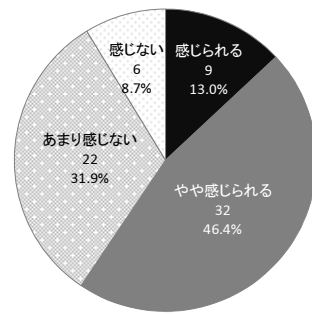
対象者：水戸駅前葵商店会、水戸駅前商店会、大手親交会、南三の丸上通り町内会に加入している方
 配布数：180 世帯(通)
 回収数：70 通(回収率：38.9%)

2. 結果概要

(1) 景観に関する意識に関することについて

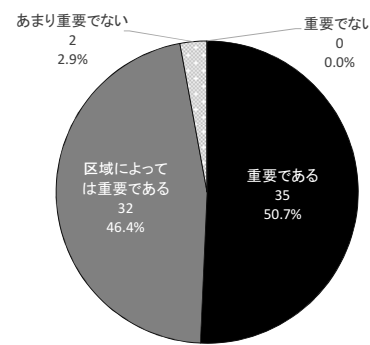
■現在のまち並みにおいて、水戸の歴史的な雰囲気は感じられるか

最も回答が多いのは「やや感じられる」で32名(46.4%)が回答しており、「感じられる」「やや感じられる」の合計値が過半数を占める結果となっている。



■良好な景観づくりに取り組むことは重要だと思うか

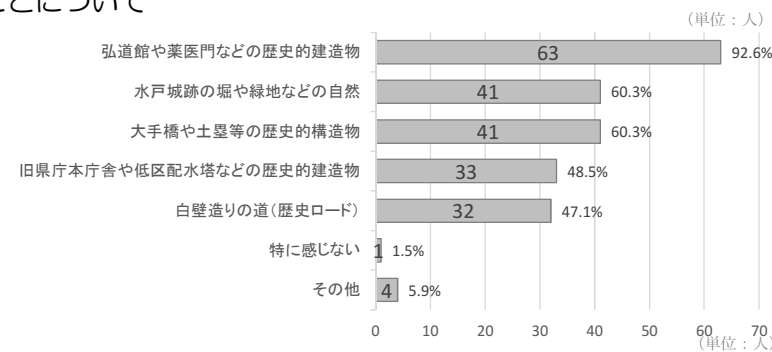
最も回答が多いのは「重要である」で35名(50.7%)が回答している。「重要である」「区域によっては重要である」の2つが全回答の9割を占める結果となっている。



(2) 弘道館・水戸城跡周辺地区の景観に関することについて

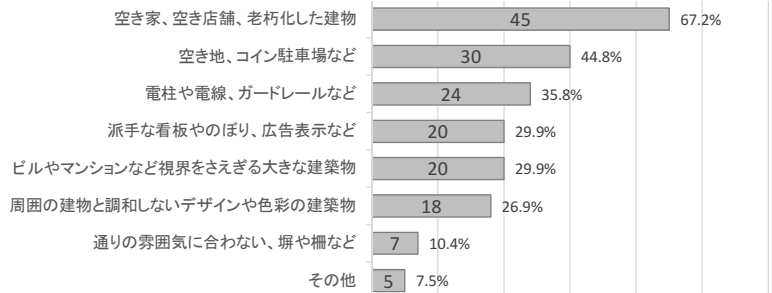
■本地区で歴史的な雰囲気を感じるもの(複数回答)

回答者が最も歴史的な雰囲気を感じるものは、「弘道館や薬医門などの歴史的建造物」であり、63名(92.6%)が回答している。



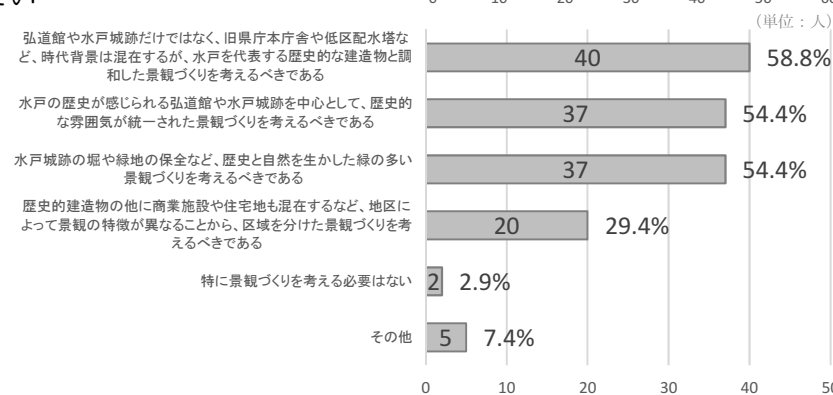
■景観の障害となるものや、景観上好ましくないと感じるもの(複数回答)

回答者が最も景観上好ましくないと感じるものは、「空き家、空き店舗、老朽化した建物」であり、45名(67.2%)が回答している。



■今後本地区の景観づくりをどのようにしていくべきだと思いますか。

回答者の景観づくりへの姿勢として最も多いのは、「弘道館や水戸城跡だけではなく、旧県庁本庁舎や低区配水塔など、時代背景は異なるが、水戸を代表する歴史的な建造物と調和した景観づくりを考えるべきである」であり、40名(58.8%)が回答している。



(3) 弘道館・水戸城跡周辺地区の良好な景観づくりの取り組みに関することについて

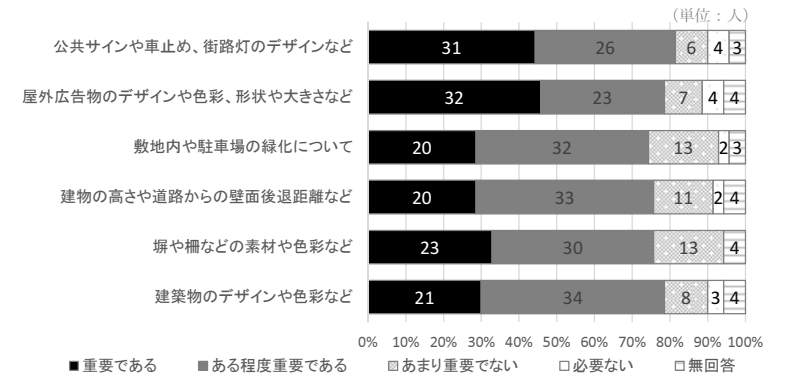
■地区独自のルール作りにおいて、必要だと思うものについて

【一般宅地(戸建て住宅等)について】

回答者が最も「重要である」と回答したものは、「屋外広告物のデザインや色彩、形状や大きさなど」であり、32名の回答を得ている。

全体の割合としては、「重要である」「ある程度重要である」の回答が7割を占めており、「公共サインや車止め、街路灯のデザインなど」では57名(81.4%)が回答している。

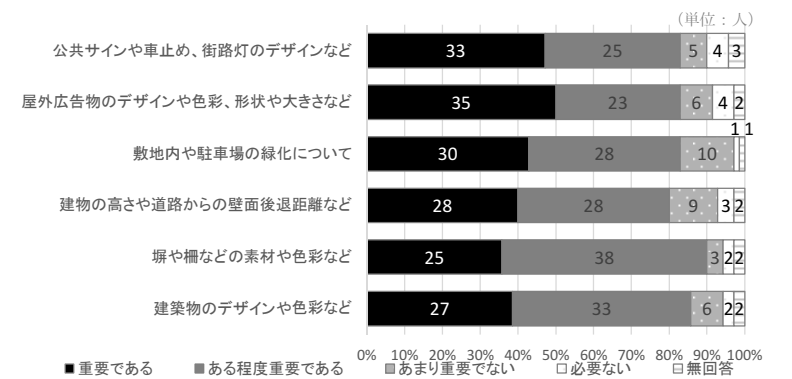
また【一般宅地】、【商業・業務施設】、【公共施設】と比較すると、「あまり重要でない」の回答数が多くなっている。



【商業・業務施設(商業・業務系ビル、マンション等)について】

回答者が最も多く「重要である」と回答したものは、「屋外広告物のデザインや色彩、形状や大きさなど」で35名の回答を得ており、「重要である」の回答が半数を占める結果となっている。

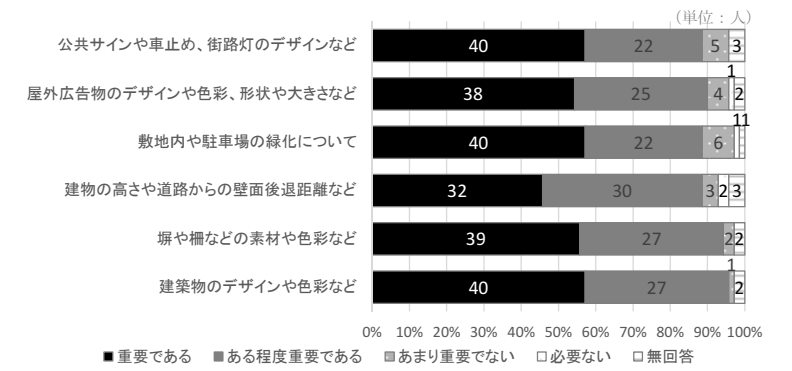
全体の割合としては、「重要である」「ある程度重要である」が8割を占めており、「塀や柵などの素材や色彩など」については63名(90.0%)が回答している。



【公共施設(教育施設、行政施設等)について】

【一般宅地】、【商業・業務施設】、【公共施設】と比較すると「重要である」の割合が高くなっており、「公共サインや車止め、街路灯のデザインなど」「敷地内や駐車場の緑化について」「建築物のデザインや色彩など」では40名の回答を得ている。

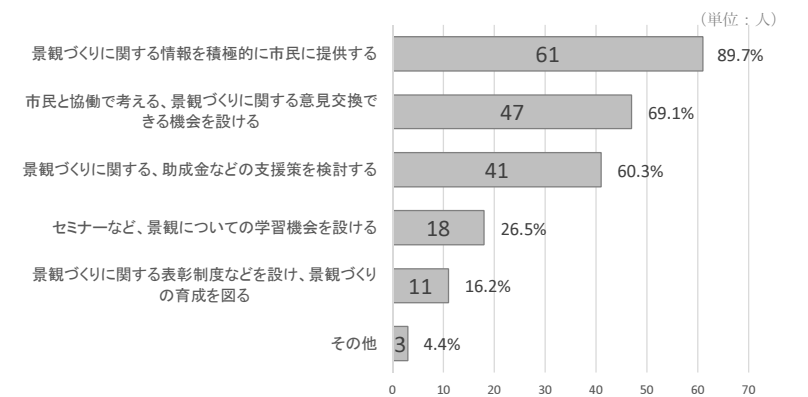
全体の割合としては、「重要である」「ある程度重要である」の回答が約9割を占めており、「建築物のデザインや色彩など」では67名(95.7%)が回答している。



■行政に期待すること(3つ回答)

「景観づくりに関する情報を積極的に市民に提供する」が最も多く、61名(89.7%)の回答を得ている。

次いで「市民と協働で考える、景観づくりに関する意見交換できる機会を設ける」が47名(69.1%)の回答を得ている。



3. まとめ

■景観に関する意識

本地区における「歴史的な雰囲気」について、感じる、やや感じると回答したのは6割であった。一方で「良好な景観づくり」に対し、9割が重要であると答えており、景観に対する意識の高さが伺えた。今後さらに景観形成に取組む必要がある。

■弘道館・水戸城跡周辺地区の景観

本地区の景観資源として「弘道館や薬医門」が90%以上の回答を得ており、景観阻害の要因となるものは「空き家、空き店舗」の回答が6割以上であった。また、今後の景観づくりに関して意見の均衡が見られ、バランスを図った景観づくりが必要である。

■景観づくりの取り組み

地区独自のルール作りにおいて、【公共施設】、【商業・業務施設】、【一般宅地】の順で「重要である」の割合が高くなっている。本地区は公共施設の立地も多く、公共空間における景観づくりの重要性が求められている。